
平成24年度 省エネルギー運転(エコドライブ)研修

平成17年2月16日に発効した京都議定書に基づく我が国のCO2排出削減目標達成に向けては、運輸部門全体からの排出量抑制について更なる努力を要する状況にあり、その一つの施策として、政府は、省エネ法(「エネルギー使用の合理化に関する法律」)を改正し、平成18年4月から実施し、運輸分野等の省エネ対策の一層の強化を図っております。

他方、原油価格高騰により軽油価格も暴騰しており、バス事業の経営に重い負担がかかっています。このため、公営バス事業においても率先して省エネルギー対策に取り組むとともに、現下の経営状況に鑑み、職員に対してもコスト意識を持たせ、その効率化に対する意識改革を図ることを目的に標記研修を実施しました。

研修概要

1. 日 時 平成24年6月7日(木)～8日(金)
2. 場 所 クレフィール湖東交通安全研修所
3. 研修日程 (別紙 省エネ運転研修時間割 参照)
4. 参加都市 青森市、八戸市、仙台市、東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、高槻市、伊丹市、尼崎市、宇部市、松江市、熊本市、鹿児島市

計15都市

5. 参加者数 28名

6. 参加者の感想

- (1)初めての参加でしたが、指導もわかりやすく出来ました。結果は思ったよりよくありませんでしたが、・・・ エンジンブレーキは次の乗務から実践します。
- (2)この研修において勉強したことを明日から職場において実践していこうと思います。研修室もきれいですし、宿泊施設もきれいで気持ちいい環境の中勉強できました。食事もおいしくいただけ風呂にも気持ちよく入れました。
- (3)丁寧でわかりやすい説明である。仕事と違って運転前は緊張したが、的確なアドバイス等で普段通り運転することができた。エコ運転の指示もわかりやすかった。
- (4)「事故、苦情は欠陥商品」との言葉が強く心に残った。管理の事故目標設定よりも、各々の乗務員が事故を起こさないことで全体の事故「0」を目標とする。
- (5)データに基づく個人管理指導まで踏み込むことが重要であるとの講師の言葉を大変重く受け止めました。
- (6)とてもいい研修でした。エコドライブはこれからも続けていきたいです。今後仕事にいかして行きたいです。
- (7)トップダウンではなく、個々の能力の底上げによる組織の強化の大切さと、地域の特性を活かした指導の必要性について参考になりました。等の感想がありました。



← 燃料計付のバスでコースを走行中の研修生

講演

「運輸安全マネジメントに基づく現場管理力の強化とドライブレコーダーの活用で公営バス危機打開へ…」(講師 高畑勇氏) →



← 講演

「ドライブレコーダーを活用した危険予知トレーニング(KYT)と運転において【みる】とは？」(講師 安原茂樹氏)

省エネルギー運転研修の参加者→

